

いよいよ彩色弁才天を黎明館で公開します

制作中の弁才天像に着色してみた。

まずは胡粉で全体を白く塗り、イメージしていた色を今はシラス粉絵具に膠を混ぜて、面相筆を使いながら薄く塗った。

弁才天は華やかな若い女性として色鮮やかな配色を意識して仕事を進めた。慎重に、丁寧に着色したが、配色を確信すると色は自然と濃くなった。最終的には金箔銀箔を施し、台座や光背には銅板を打ち付けた。打ち付けたばかりなので、銅板は写真のように輝いているけれども、やがては経年変化で緑青色になっていくだろう。

顔は現代の女性によく見かけるような化粧を施し、「どこでも見かける健康な美人女性」をイメージしてみた。

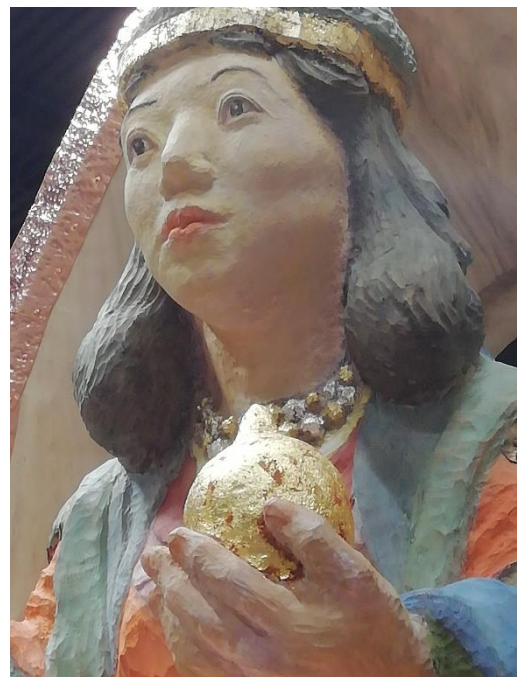
4月27日から5月5日までの鹿児島白日光会場で公開し、5月4日2時から黎明館会場で私のギャラリートークで解説を行います。読者の皆様は是非参加して頂きたいと願っています。

展覧会終了後、作品はご神像として出水市の厳島神社に奉納される予定です。

2023年4月



右手に七支刀左手に宝珠。



宝珠には金箔を施した。